

岐阜県の自殺統計

（令和6年人口統計）

岐阜県精神保健福祉センター
令和7年12月版作成

岐阜県における自殺の現状

1 特徴

令和6（2024）年の統計データから見る本県の特徴は次のとおりです。

- 自殺者数は令和2（2020）年までは減少傾向にありましたが、令和3（2021）年から令和6（2024）年は、令和2（2020）年の291人を上回っています。令和6（2024）年の自殺者数は309人、令和5（2024）年から46人減少しています。
- 男女別の自殺者数は、男女ともに令和5（2023）年より減少しています。
- 自殺死亡率は16.7、令和5（2023）年の19.0より低下しました。
- 性別自殺死亡率は、男性23.5、女性10.3となり、男女とも令和5（2023）年より低下しましたが、全国値を上回っています。
- 年齢階級別の自殺死亡率は、60歳～69歳が23.0と最も高く、次に30歳～39歳の19.9、20～29歳の19.0が高い年齢階級となっています。
- 男女別の年齢階級別の自殺死亡率について、男性は60～69歳が最も高く、次に50～59歳、40～49歳と続きます。女性は20～29歳が最も高く、次に30～39歳、60～69歳と続きます。
- 年齢階級別の自殺死亡割合において、4割を超える年齢階級層は10歳～29歳でした。特に15歳～24歳の年齢層では、死亡総数に占める自殺死亡割合は6割前後を推移しています。
- 自殺の原因・動機別では、男性は「健康問題」が最も多く、次に「経済・生活問題」「勤務問題」が続き、女性は「健康問題」が最も多く、次に「家庭問題」「男女問題」と続いています。

■自殺の状況に関する統計データとして、図1～図5、表1～表2は、人口動態統計（厚生労働省）を基に作成しています。図6～図11は、自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2025」を基に作成しています。表3は、地域における自殺の基礎資料を基に作成しています。

【参考】

厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の違い（厚生労働省令和元年版自殺対策白書より）

1 日本における外国人の取扱いの差異

「自殺統計」は、日本における日本人及び日本における外国人の自殺者数としているのに対し、「人口動態統計」は日本における日本人のみを自殺者数としています。

2 調査時点の差異

「自殺統計」は、捜査等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し、計上しているのに対し、「人口動態統計」は自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明の時は原因不明の死亡等で処理しており、後日原因が判明し、死亡診断書等の作成者から自殺の旨訂正報告があった場合には、遡って自殺に計上しています。

3 計上地点の差異

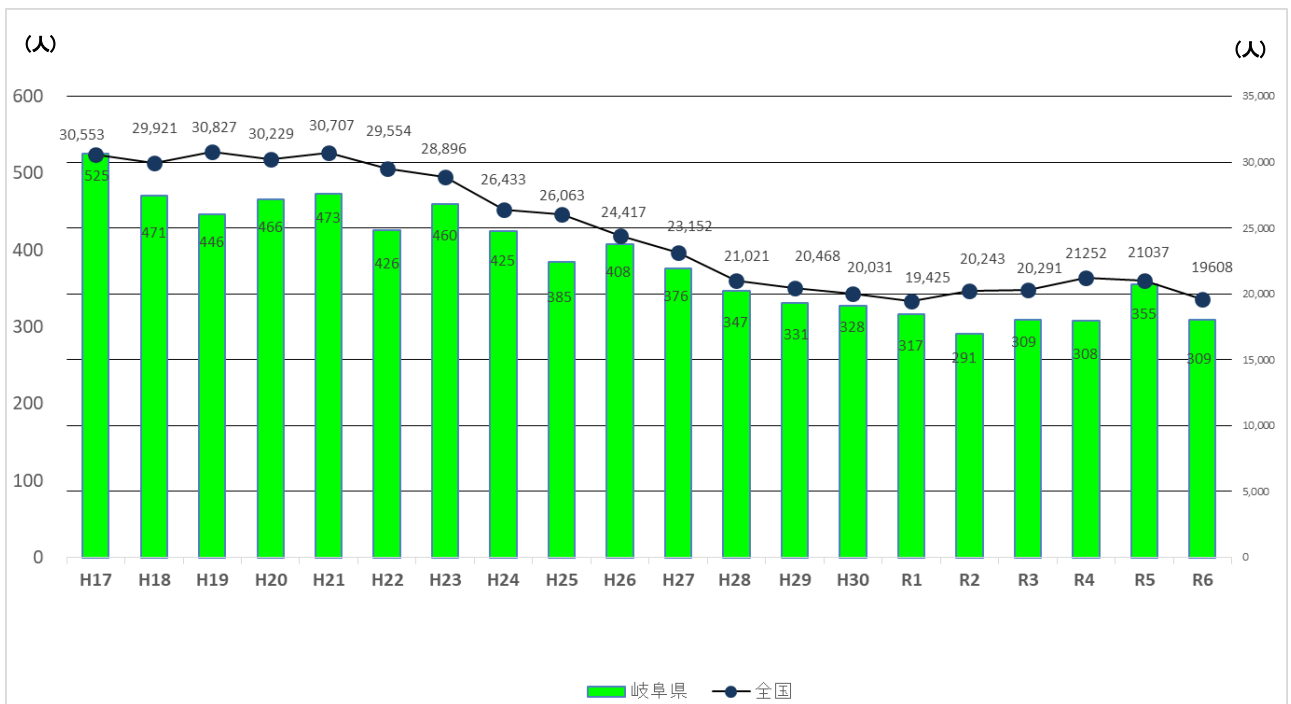
「自殺統計」は、発見地に計上しているのに対して、「人口動態統計」は、住所地に計上しています。

2 統計データからみる岐阜県の自殺の現状

(1) 自殺者数

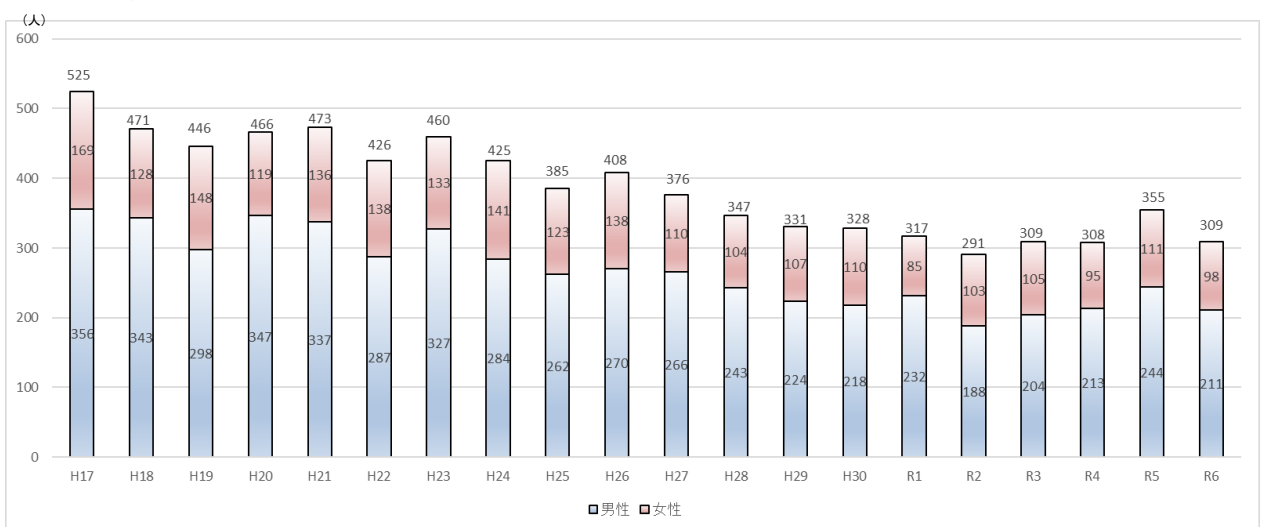
- ・自殺者数は令和2(2020)年までは減少傾向にありましたが、令和3(2021)年から令和6(2024)年は、令和2(2020)年の291人を上回っています。
- ・令和6(2024)年の自殺者数は309人、令和5(2023)年から46人減少しています。(図1)
- ・令和6(2024)年の男女別の自殺者数は、男女ともに令和5(2023)年より減少しています。(図2)

(図1) 全国・岐阜県自殺者数の年次推移



(資料：人口動態統計)

(図2) 岐阜県自殺者数の男女別の年次推移

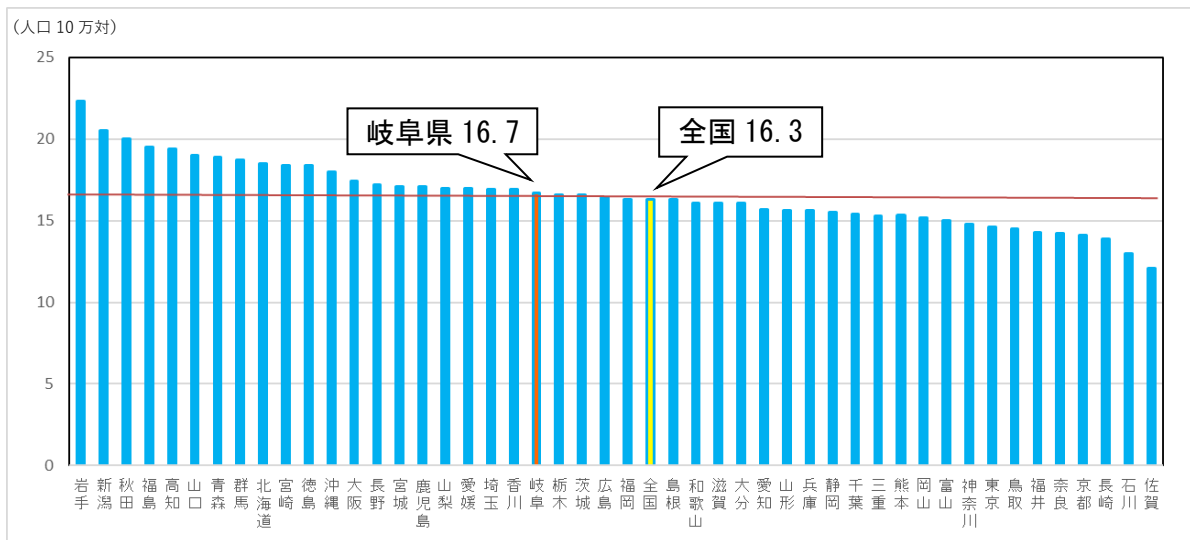


(資料：人口動態統計)

(2) 自殺死亡率

- 岐阜県の令和6(2024)年の自殺死亡率は16.7、令和5(2023)年の19.0より減少しました。(図3)
- 令和2(2020)年から令和4(2022)年まで全国を下回っていましたが、令和5(2023)年からは全国を上回っています。
- 令和6(2024)年の性別自殺死亡率は、男性23.5、女性10.3となり、男女とも令和5(2023)年より低下しましたが、全国値を上回っています。<表1>(図4)
- 令和6(2024)年の年齢階級別の自殺死亡率は、60歳～69歳が23.0と最も高く、次に30歳～39歳の19.9、20～39歳の19.0が高い年齢階級となっています。(図5)男女別で見ると、男性は60～69歳の35.5が最も高く、次に50～59歳の29.3、40～49歳の29.1が高い年齢階級となっています(図6)。女性は20～29歳の16.9が最も高く、次に30～39歳の15.2、60～69歳の11.5が高い年齢階級となっています(図7)。

(図3) 令和6年 全国・岐阜県自殺死亡率の比較



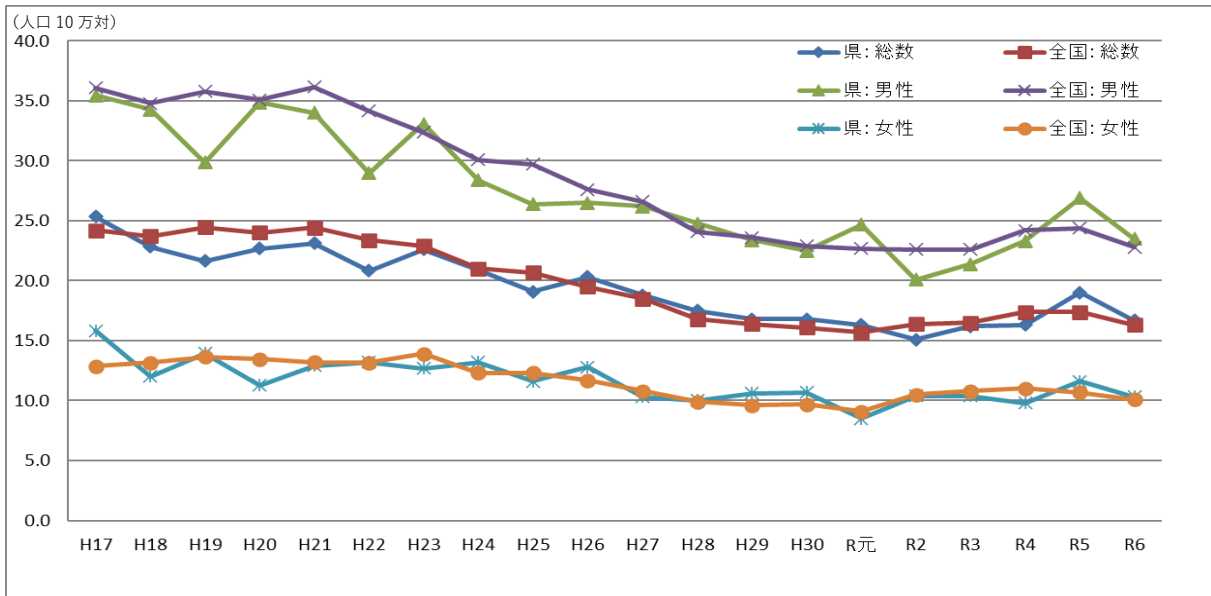
(資料：人口動態統計)

<表1> 全国・岐阜県 性別自殺死亡率 (人口10万対)

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
総数	県	25.4	22.8	21.7	22.7	23.1	20.8	22.6	20.9	19.1	20.3	18.8	17.5	16.8	16.8	16.3	15.1	16.2	16.3	19.0	16.7
	全国	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.4	16.3
男性	県	35.5	34.3	29.9	34.9	34.0	29.0	33.1	28.4	26.4	26.5	26.2	24.8	23.4	22.5	24.7	20.1	21.4	23.3	26.9	23.5
	全国	36.1	34.8	35.8	35.1	36.2	34.2	32.4	30.1	29.7	27.6	26.6	24.1	23.6	22.9	22.7	22.6	22.6	24.2	24.4	22.8
女性	県	15.8	12.0	13.9	11.3	12.9	13.2	12.7	13.2	11.6	12.8	10.3	10.0	10.6	10.7	8.5	10.4	10.4	9.8	11.6	10.3
	全国	12.9	13.2	13.7	13.5	13.2	13.2	13.9	12.3	12.3	11.7	10.8	9.9	9.6	9.7	9.1	10.5	10.8	11.0	10.7	10.1

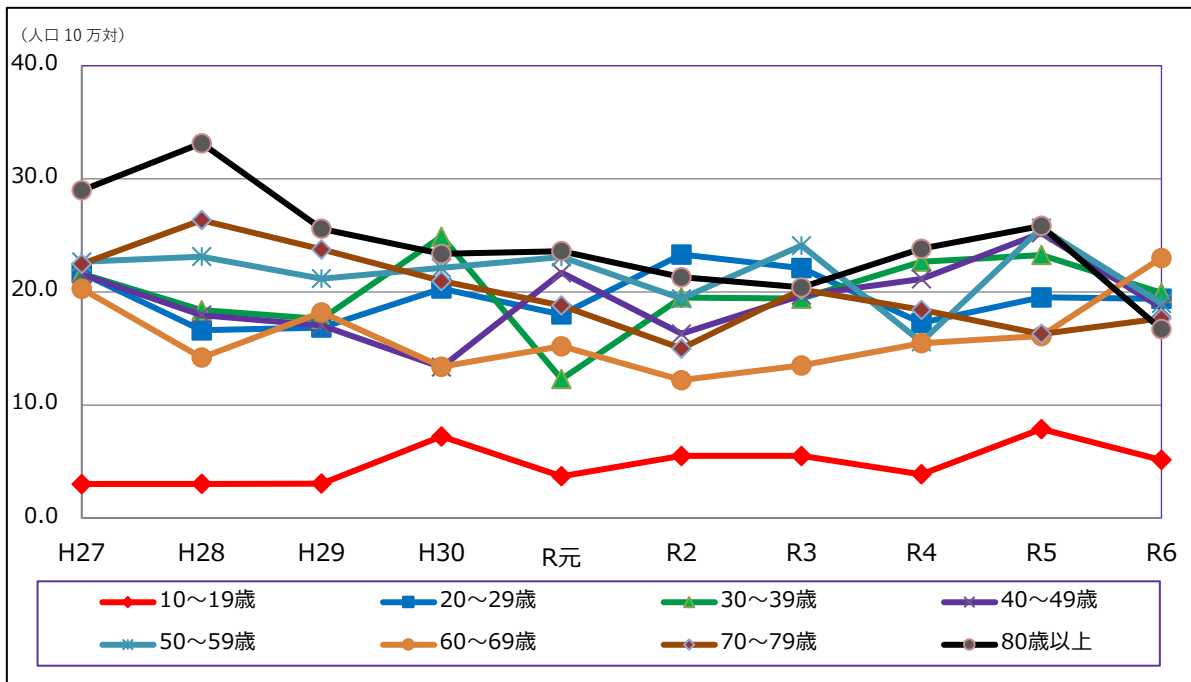
(自殺者数：人口動態総計、人口：人口推計)

(図4) 岐阜県性別自殺死亡率の年次推移



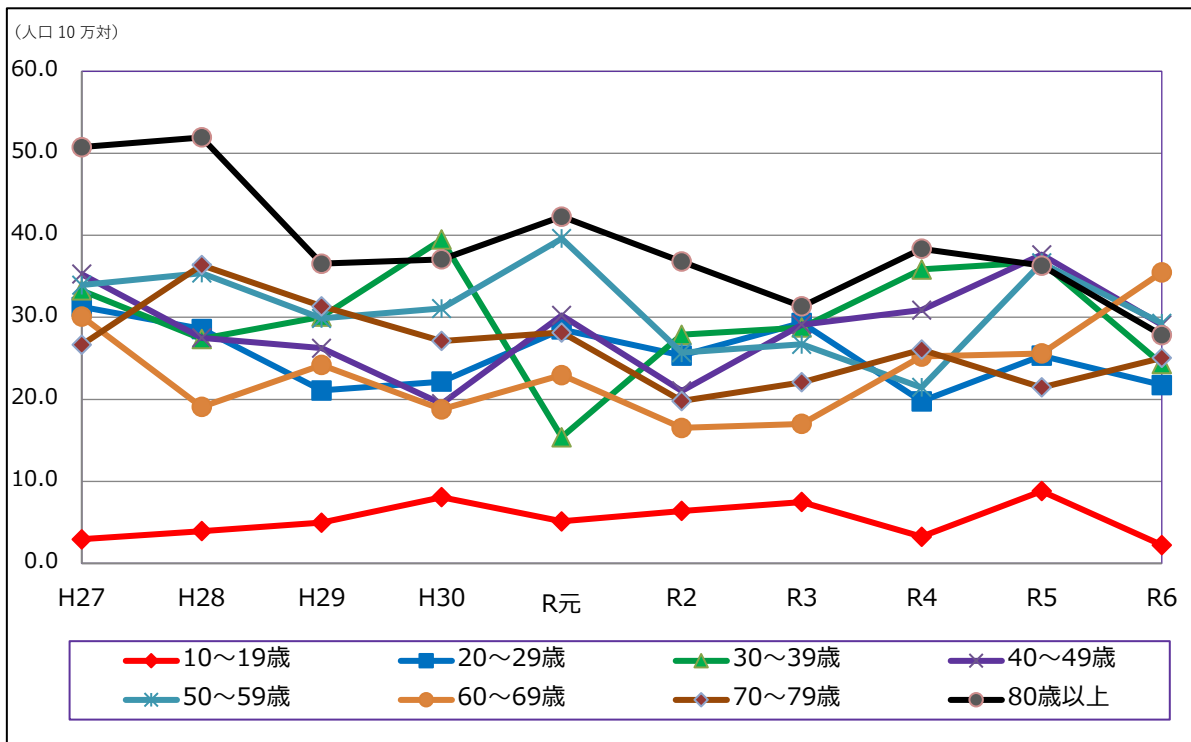
(資料：人口動態統計)

(図5) 岐阜県年齢階級別自殺死亡率の年次推移 ※自殺死亡率：人口10万人当たりの自殺者数



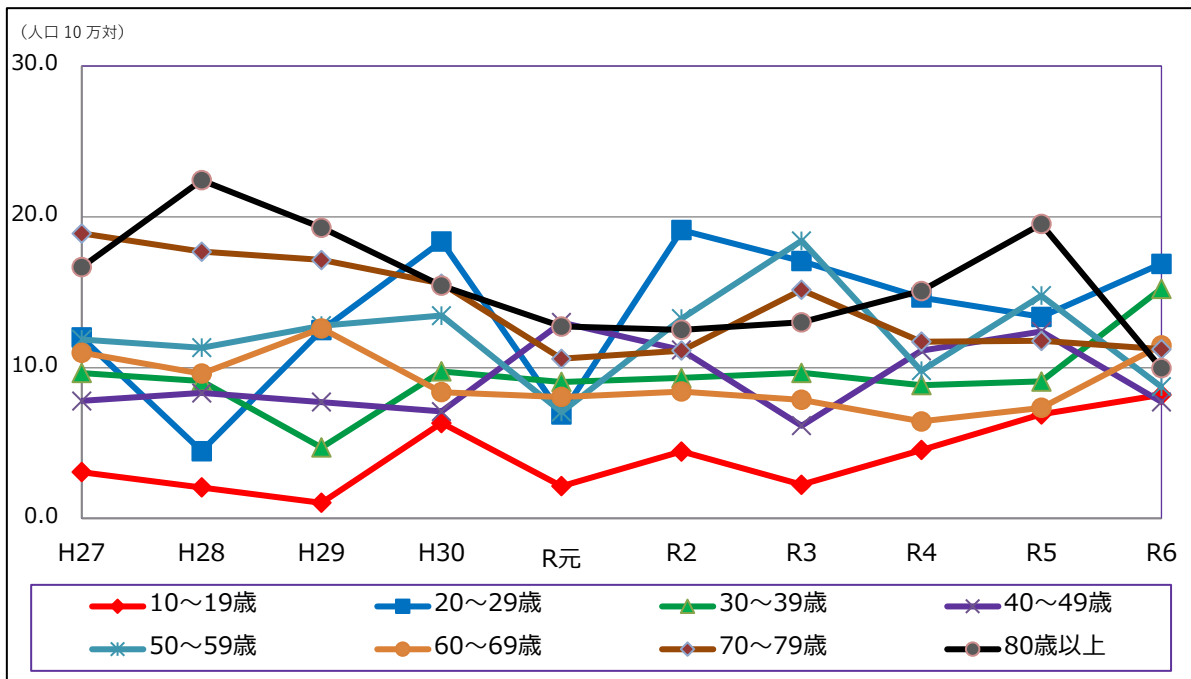
(資料：人口動態統計)

(図6) 岐阜県 男性 年齢階級別自殺死亡率の年次推移



(資料：人口動態統計)

(図7) 岐阜県 女性 年齢階級別自殺死亡率の年次推移



(資料：人口動態統計)

(3) 年齢階級別の死亡総数に占める自殺死亡割合

- ・岐阜県の令和6（2024）年の年齢階級別の自殺死亡割合において、4割を超える年齢階級は10歳～14歳、15歳～19歳、20歳～24歳、25歳～29歳でした。特に15歳～24歳の年齢層では、死亡総数に占める自殺死亡割合は6割前後を推移しています。〈表2〉

〈表2〉令和6年 岐阜県の年齢階級別の死亡総数に占める自殺死亡数の割合

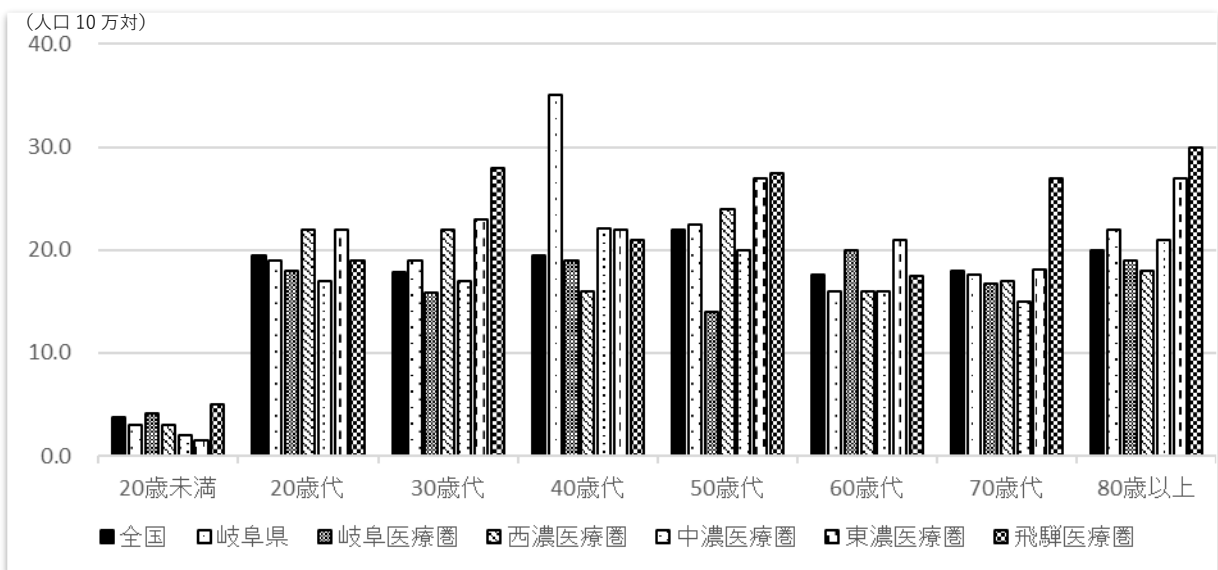
	総数	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 ～
割合(%)	1.2	40.0	63.6	58.8	44.8	28.9	35.3	32.2	9.9	9.6	5.2	6.3	1.8	1.1	0.8	0.3	0.2	0.1
自殺死亡数(人)	309	2	7	20	13	11	24	29	15	30	22	36	18	21	26	13	10	12
死亡総数(人)	26,392	5	11	34	29	38	68	90	152	311	427	572	981	1,879	3,144	4,409	5,462	8,741

(資料：人口動態統計から算出)

(4) 年代別・医療圏域別の自殺死亡率

- ・岐阜県の2020～2024年平均の年代別自殺死亡率について、30歳代、40歳代、50歳代、80歳以上は全国より高くなっています。(図8)
- ・岐阜県の2020～2024年平均の男性における年代別自殺死亡率について、岐阜医療圏は30歳代、西濃医療圏は、20歳未満、30歳代、50歳代、70歳代、中濃医療圏は、20歳代、40歳代、60歳代、80歳以上、東濃医療圏は、30～60歳代、80歳以上、飛騨医療圏では、20歳代を除くすべての年代が全国より高くなっています。(図9)
- ・岐阜県の2020～2024年平均の女性における年代別自殺死亡率について、岐阜医療圏は、20歳未満、20歳代、40歳代、50歳代、80歳以上、西濃医療圏は、20歳代、30歳代、50歳代、80歳以上、中濃医療圏は、30歳代、70歳代、東濃医療圏は、20歳代、50歳代、70歳代、80歳以上、飛騨医療圏は、20歳未満、20歳代、50歳代、70歳代、80歳以上が全国より高くなっています(図10)

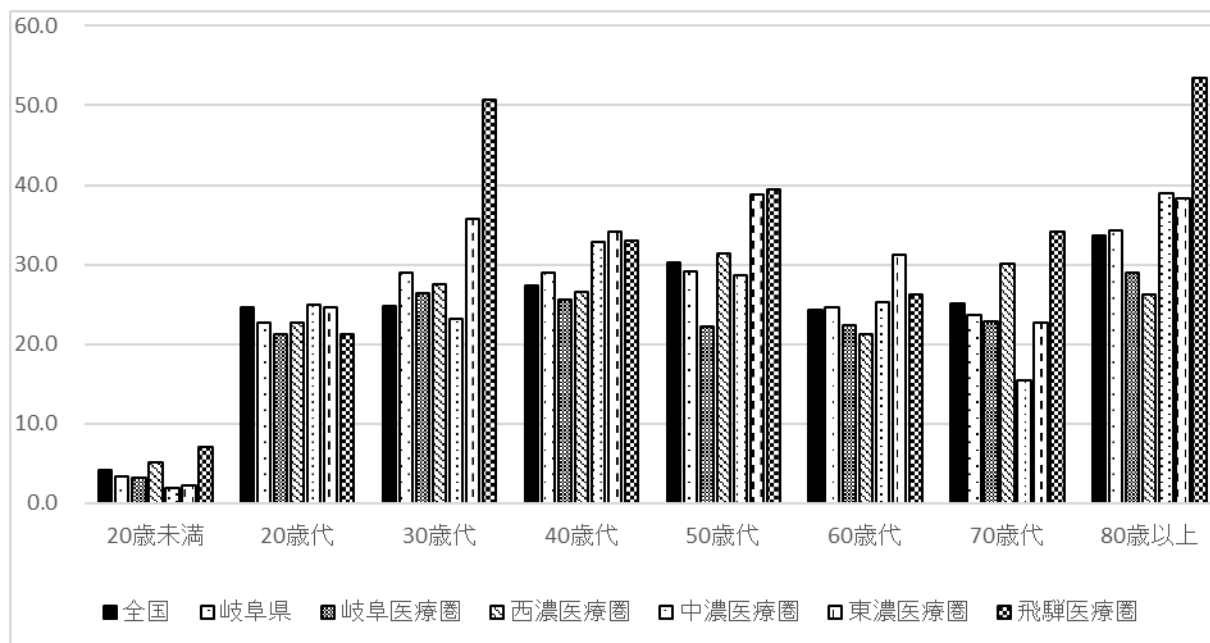
(図8) 年代別・医療圏域別自殺死亡率 (2020年～2024年平均)



(資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2025」)

(図9) 【男性】年代別・医療圏域別自殺死亡率 (2020年～2024年平均)

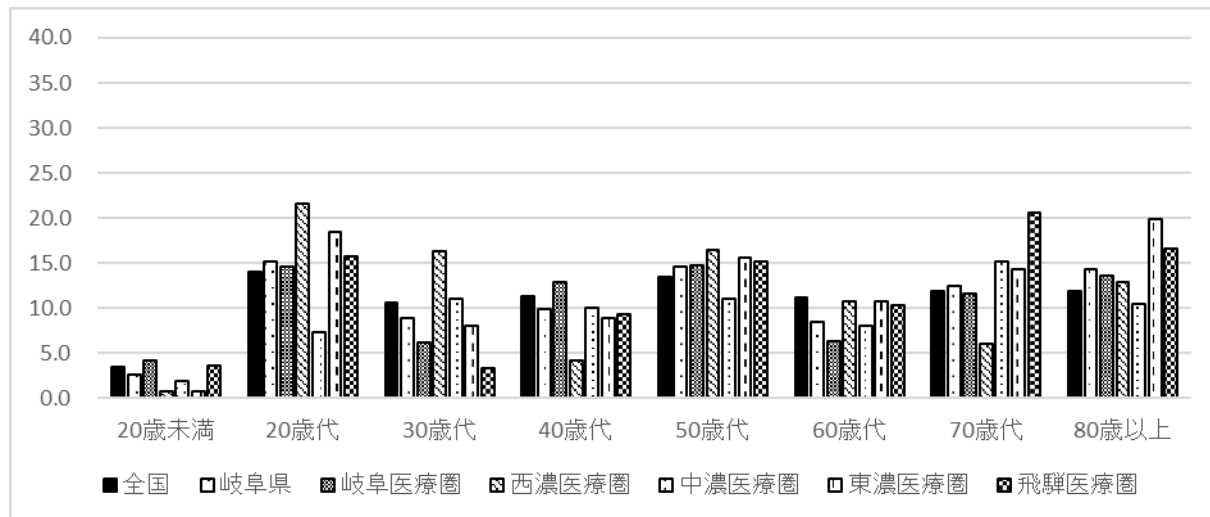
(人口10万対)



(資料:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2025」)

(図10) 【女性】年代別・医療圏域別自殺死亡率 (2020年～2024年平均)

(人口10万対)

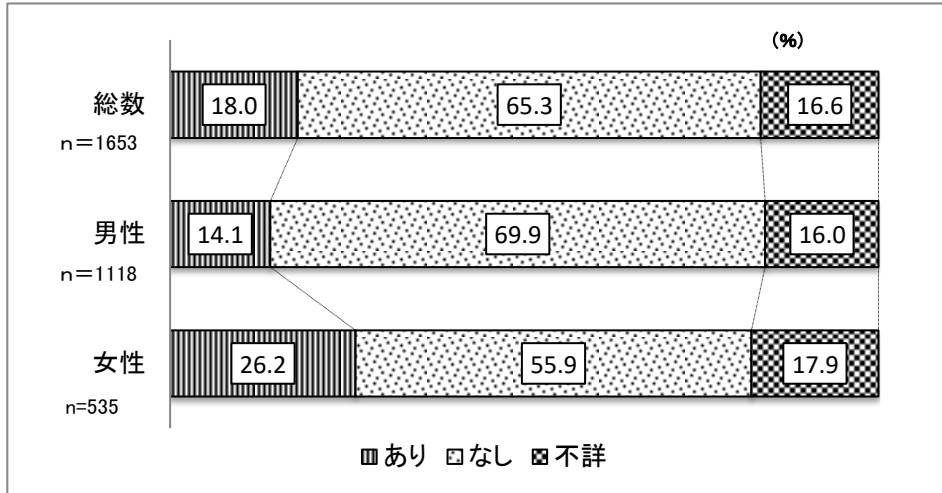


(資料:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2025」)

(5) 自殺者における未遂歴の有無

- ・男性の69.9%、女性の55.9%は自殺未遂歴がなく、自殺未遂歴のある自殺者は、男性よりも女性の方が多い傾向にあります。(図11)

(図11) 自殺者における未遂歴の有無 (2020年～2024年合計)

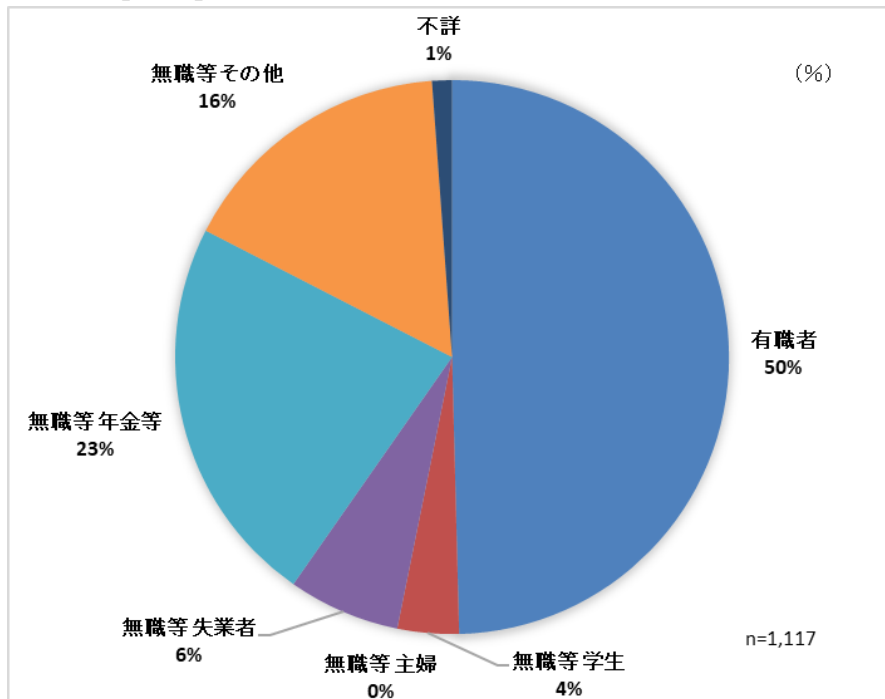


(資料:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2025」)

(6) 職業別自殺者数

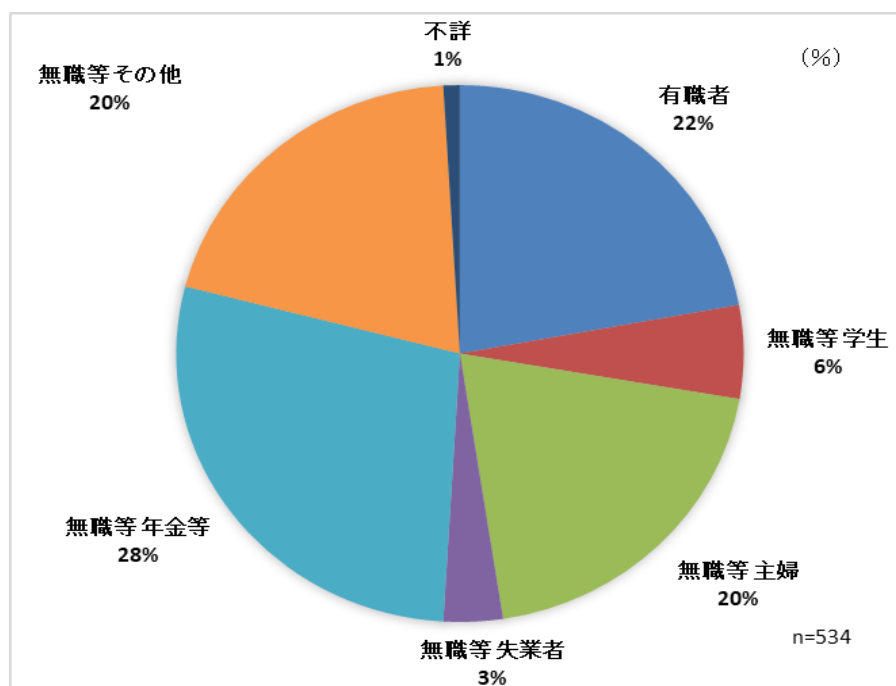
- ・職業別自殺者数について、男性は有職者が半数を占めています。女性は無職等・年金等が最も多く、全体の約30%近くを占めています。(図12) (図13)

(図12) 【男性】職業別の自殺者数



(資料:自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2025」)

(図 13) 【女性】職業別の自殺者数



(資料: 自殺対策推進センター「地域自殺実態プロフィール2025」)

(7) 原因・動機別自殺者数

- ・自殺の原因・動機別について、男性は「健康問題」が最も多く、次に「経済・生活問題」「勤務問題」が続き、女性は「健康問題」が最も多く、次に「家庭問題」「男女問題」と続いています。〈表3〉

<表3> 原因・動機別の自殺者数

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
総数	39	122	83	33	19	6	29	35	366
男性	24	76	75	29	8	2	21	21	256
女性	15	46	8	4	11	4	8	14	110

(自殺の統計：地域における自殺の基礎資料(令和6年))